

川添研究室

[ニューロ・アーバニズム]

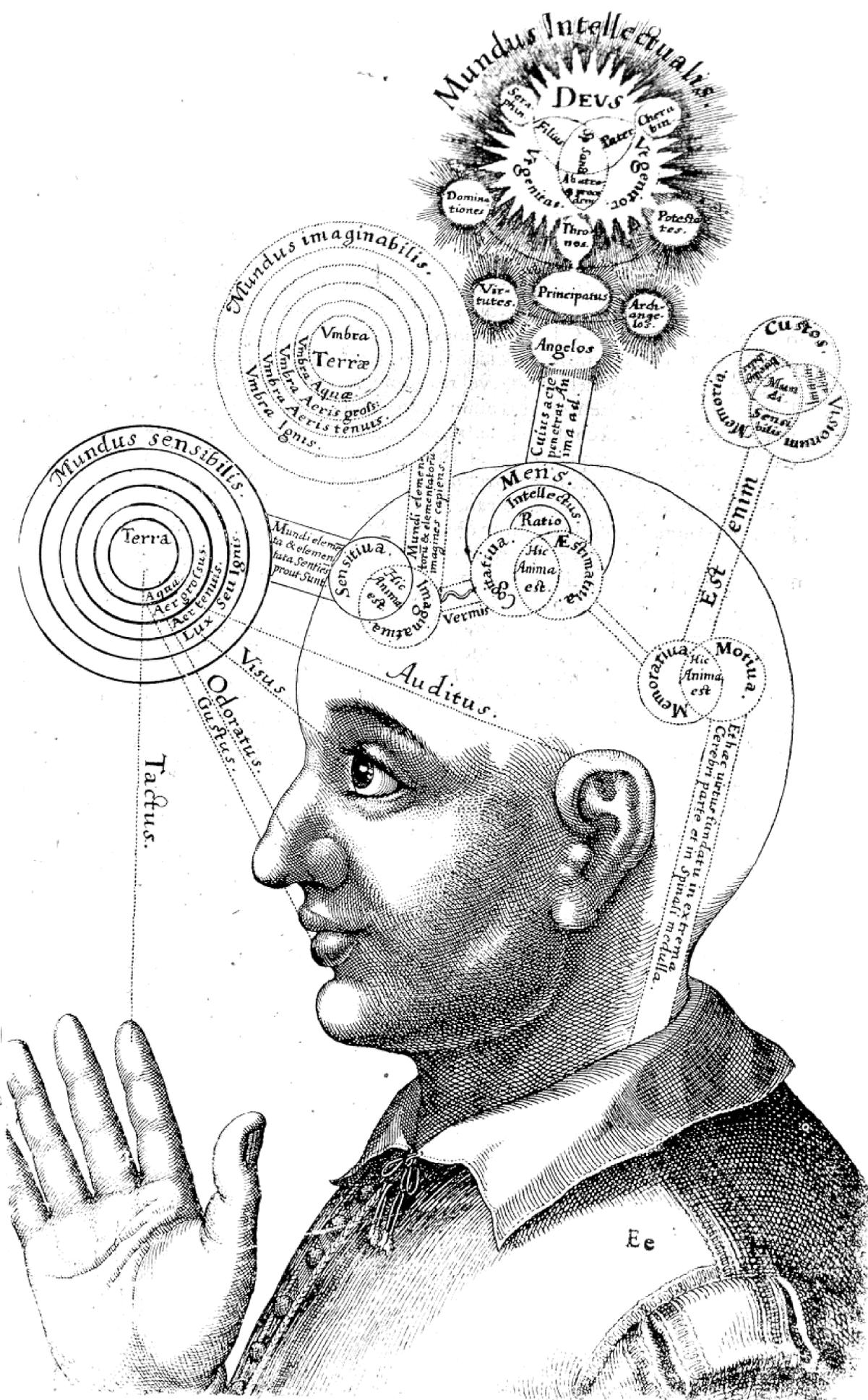
生産技術研究所 人間・社会系部門

Department of Human and Social Systems

建築設計学

工学系研究科建築学専攻

<http://www.kwz.iis.u-tokyo.ac.jp/>



Robert Fludd, Utriusque cosmi maioris scilicet et minoris [...] historia, tomus II (1619)

神経建築学 —建築理論と工学の融合—

川添研究室ではこれまで、建築の形態や空間に関する理論の構築とともに実際の設計を行ってきました。近年、生命科学分野の発展によって美的価値に対する数量的評価が可能になってきています。川添研究室では、こうした技術を建築や都市へ応用し、それらに対する無意識的な知覚と意識を分析することで、空間や形態の価値を数量化するとともに、新旧の建築理論を再統合することを目指しています。

加太分室地域ラボ —関係性の科学—

川添研究室の特徴として、駒場キャンパスだけではなく、和歌山県の小さな漁師町・加太にも研究活動の拠点を構えていることが挙げられます。この加太分室・地域ラボでは、研究員が地域社会の一員として長期間滞在しながら地域の再生を試みています。

この数年、地域に投げ込まれた大学研究室という空間を媒介にさまざまな社会関係が新たに結ばれ、町が変化していく様子を見してきました。「関係性の科学」と呼べる加太での活動に「空間形態の科学」である神経建築学を組み合わせることで、地域の社会空間に対するより適切なアプローチ方法が生み出せると考えています。

ニューロ・アーバニズム

—都市空間の再結合—

川添研究室では加太をはじめとする地域での事例研究を重ねながら、地域の集合としての都市を再生する方法を見出そうと試みています。社会関係の再結合と神経の再結合により、人間を中心とした全く新しい都市空間の再生が実現できると考えています。